



内閣府（防災担当）

南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討 ワーキンググループ（第2回） 議事要旨

1. 日 時

平成28年11月22日（火）15:00～17:00

2. 出席者

平田主査、岩田委員、河田委員、小室委員、田中委員、長谷川委員、平原委員、山岡委員、川勝（代理：外岡）委員、尾崎委員、行政委員（内閣官房（国土強靱化室）、文部科学省、国土地理院、気象庁）

羽深 内閣府審議官、加藤 政策統括官 他

3. 議 題

- (1) 「南海トラフ沿いの大規模地震の予測可能性に関する調査部会」における検討状況の報告
- (2) 緊急防災対応のあり方の今後の検討方針

4. 議事要旨

- 「南海トラフ沿いの大規模地震の予測可能性に関する調査部会」の報告書改定の骨子案について、調査部会の山岡座長及び事務局から報告を行い、各委員から以下をはじめとする幅広いご意見をいただいた。
 - ・ 異常な現象が観測された場合、行政は何らかの対応を求められるので、対応できる仕組みを整えておくべき。
 - ・ 本報告書改定の骨子案に記載されている科学的評価は、多くの地震学者がおおむね同意する内容であると思われる。
- 本ワーキンググループにおける今後の検討方針（案）について事務局より説明し、各委員から以下をはじめとする幅広いご意見をいただいた。
 - ・ 防災対応の検討に当たっては、南海トラフの特殊性を考慮すべき。
 - ・ より具体的な被害想定をベースに議論を進めていくべき。

以 上